

ビューティ・プロ20名が選出(五十音順) ▶好きなフレグランスノート

浦安真利子さん
(ビューティエディター)
▶ハーバル、ウッディ

平 輝乃さん
(ビューティエディター)
▶シトラス、ムスキー

中森友喜さん
(NOSE SHOP代表)
▶フルーティ、樹脂香

森山和子さん
(ビューティエディター)
▶重くないムスキー

米倉新平さん
(LE SILLAGEオーナー)
▶アンバー、オリエンタルほか

木津由美子さん
(ビューティ・ジャーナリスト)
▶ウッディ、スモーキー

髙 香さん
(ビューティエディター)
▶心地よいと感じるもの

前野さちこさん
(ビューティエディター)
▶ウッディ、パウダリー

山根大輝さん
(Scentopia株式会社
代表取締役/調香師)
▶シトラスグリーン

渡辺敦子さん
(ビューティエディター)
▶甘さのあるスパイス

小泉祐貴子さん
(香りディレクター)
▶スパイス、アンバー

中野香織さん
(服飾史家)
▶ハーバル、フローラル

MAHOさん
(フレグランスアドバイザー)
▶フレッシュアンバー

横溝なおこさん
(ビューティエディター)
▶フローラル、ウッディ

編集部ビューティ担当
編集G・H・I・R・M・A



「シトラス×アンバー、定番の組み合わせなのに中毒性がある」

by 中森友喜さん (NOSE SHOP代表)

「カジュアルになりがちなバニラをほろ苦くセンシュアルに」

by 渡辺敦子さん (ビューティエディター)

2024 SS フレグランス・アワード

ベスト・オブ・ベスト大賞

TOM FORD

バニラ セックス オード パルファム スプレィ

「今季No.1に好きです。スモーキーさが加わることで、まるでかかればとどこくなくとも素敵。体温で温められたあとの、やわらかな香り立ちも魅力です」(渡辺さん)。
「幾層にもレイヤーされており、甘さだけが残るのではない。上質な仕上がりです。トム・フォードがバニラを解釈するところなの!?と、新たな発見が」(前野さん)。
「トンカビーやアーモンドのシャープな甘さと、深みあるアンバーノートが高揚感をもたらします。ひと味違うフレグランスをお探しの方に」(小泉さん)。
「ミルクィでコクがあり、濃厚でスイート。中核ではウッドノートが全体をまとめ、洗練された大人の表情を見せます。深い余韻が残り、記憶に刻まれる一本」(編集M)。
特別な成分バニラ チンクチャー インディアがやわらかな官能性を醸す。個性的な香水名と可愛らしさもある香りのギャップが新鮮。(50ml) ¥52,250 / トム フォード ビューティ

2024 SS フレグランス・アワード

ベスト・オブ・ベスト大賞

LOEWE Perfumes

オードゥ パルファン “ロエベ アグア ドロップ”

「柑橘主体の爽やかな香りの中に、絶妙な甘さとアンバーのぬくもりがあり、持続性も上々。突飛さがあるわけではないのに魅惑的な調香は、上手い一言」(中森さん)。
「水の透明感を思わせる、軽やかさ。フレッシュなフローラルにウッディな要素も溶け合い、決してありきたりではない。空気のようにでいてちゃんと奥行きもある」(森山さん)。
「ベルガモットやオレンジフラワーが爽やかに香るシトラスノートに、ラバダナムによるレザーのようなスモーキーなニュアンスが替む。スタイリッシュな逸品」(木津さん)。
「花びらの上の朝露やゆっくり流れる川のせせらぎを思い起こさせる、抽象的な水の表現。やさしさがありつつ、アブサンでひねりをきかせているのも最高です」(編集I)。
スペインに自生するロックローズから抽出したラバダナムで作ったロエベアコード。そこにシトラスを融合させたフレッシュフルーティ。(100ml) ¥31,790 / ロエベ パルファム

誰が何といっても、これがマイベストフレグランス!

日本初上陸のブランドや気鋭のニッチラグジュアリー、繊細さが光る日本発の新作まで
フレグランス通たちが、これぞ!と選んだ12本。あなたの“イチ押し”探しの参考に

5. HERMÈS

H24 エルブ ヴィーヴ
オードパルファム

「ハイテク分子×ハーブ!
最先端の手法に感銘」

by 中野香織さん (編集歴)



6. CREED

クイーン オブ シルク
オードパルファム

「上手にモダンさを加えた
贅沢な多面体フローラル」

by 美香さん (ビューティエディター)

1. GIVENCHY

『ラ コレクション パルティキュリエ』
ドジバンシイ キュール フウ

「ジェンダーレスでモダンなローズ」

by 横溝なおこさん (ビューティエディター)



2. ATELIER MATERI

セードル・フィガリア

「独創的な
ヴェジタル・ウッディ」

by 山根大輝さん
(Scentopia株式会社 代表取締役/調音師)

3. THE MERCHANT OF VENICE

オードパルファム ギョクロー

「桃と月下香が導く新しい緑茶ノート」

by MAHOさん (フレグランスアドバイザー)



4. Mark Buxton Perfumes

ミ コンフェシオン

「絢爛たる英国のバーを描く
スモーキー・ウッディ」

by 米倉新平さん (LE SILLAGEオーナー)



1 「バラの華やぎを持ちながら、マニッシュな爽快感と幻想的な中毒性も。フローラルの甘さと青み、重厚感のバランスに夢中です」(横溝さん)。ダマスクローズが優美に咲き誇るアロマティック・フルーティ・フローラル。(100ml) ¥36,850 / パルファム ジバンシイ

2 「クリーミーなフィグからシダーウッドへのブリッジがなめらか。ほうれん草を思わせるグリーンやスパイスのアコードが見事に調和します」(山根さん)。拡散性や持続性を高めた植物性の天然香水。(100ml) ¥37,400 / フェードン フレグランス ハウス

3 「すっきり系に収まりがちなお茶の香りも、玉露に芳醇な桃とチュベローズを合わせることですっきりと甘い味わいに」(MAHOさん)。日本初上陸、ヴェネツィアの老舗パフューマリーが“玉露”を描いた。(100ml) ¥42,900 / ヤマノ アンド アソシエイツ

4 「なめらかなラム酒と、温かくスパイシーなタバコ。そこにスモーキーなウッドや、甘美なフローラルが溶け合う、ミステリアスさの虜に」(米倉さん)。著名な調音師マーク・バクストンの名を冠したブランドの新作。(50ml) ¥27,500 / ル シヤージュ

5 「感覚分子フィスコールというハイテク素材を、フレッシュなハーブと融合。一歩先を行く実験的手法に魅了されました。ジェンダーを問わず、未来を築く人間像が浮かぶ」(中野さん)。雨上がりに香るハーブを表現。(100ml) ¥19,580 / エルメスジャパン

6 「贅沢な花々の香りが押し寄せ、そこにスパイス、ウッディ、アンバーが次々と現れる。めくるめく変化を見せる極上の香水」(美香さん)。シルクの贅沢な光沢と優美さを宿す、魅惑のフローラル アンバー。(75ml) ¥48,290 / インターモード川辺 フレグランス本部



2024 SS フレグランス・アワード

ベスト・コラボレーション賞

EDITIONS DE PARFUMS FREDERIC MALLE

アクネ ストゥディオズ パー フレデリック マル

「アートに造詣の深い両者のコラボレーション。本質を突きながら、次世代の感覚に訴えるモダンな香りに、心が躍りました」(中野さん)。

「クラシックな香調も重たく感じさせない、オレンジプロッサムのきらめきのアクセント。簡単には解けない、ミステリアスさの虜に。アクネの服と合わせて楽しみたい逸品です」(浦安さん)。

「華やかに広がるアルデヒドのあと、花や潮風のようなミネラル感、バニラのほのかな甘さが混然と溶け合う。シャワー後の肌のような、クリーンでセンシュアルなぬくもりがとってても優雅」(平さん)。

「たとえるならエッジがきいたパステルカラーの服？最初に香るアルデヒドが透明感をプラス。両者のアバンギャルド性を体現する名香」(編集A)。

香りの編集者フレデリック・マルがアクネ ストゥディオズの美学を、先鋭的でネオクラシックな香りで表現。(50ml) ¥38,500 / ブルーベル・ジャパン

革新的な表現者たちが挑んだ、
芸術性の高い香り

by 中野香織さん (服飾史家)

